

事業所名

ワクワクひろば

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

8日

法人（事業所）理念	すべての人に対して、必要に応じ生涯にわたる発達支援等を行い、認め合い、支え合う活動を通して、誰もが生きる希望をもてる暖かい地域づくりに寄与することを目的にしています。		
支援方針	①子どもの個性を伸ばし、言葉の発達を促す ②子どもの困難さの理解と適切な対応 ③基本的な生活習慣の自立 ④集団遊びを通し、集団に適応する力を培う ⑤保護者との連携		
営業時間	8時30分から	17時15分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	遊び時間・昼食・午睡・排泄の時間など、スケジュール化された活動を通して生活リズムを育てていきます。子どもだけの通所支援の形態を取っており、身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを、行動を丁寧に褒めながら育てていきます。	
	運動・感覚	マットの上でリラックスする活動や、作業療法士による感覚運動遊びを通して、心と体と向き合う時間を提供します。また、公園の遊具で遊んだり、水遊びをしたり等、さまざまな感覚を活用する機会を設けています。	
	認知・行動	タイマーやイラスト、具体的な声かけ等、様々な手がかりを活用して、時間の切り替えや好ましい行動をうながします。必要に応じて、職員が好ましい行動を助言したり、相手の気持ちを代弁したりしながら、好ましい行動につなげやすくしていきます。	
	言語 コミュニケーション	基準より多くの職員を配置し、コミュニケーションが取りやすい環境を整えます。子どもから発信されたことをくみ取り、丁寧に言葉で返していきながら、人とやり取りする楽しさや、誰かに伝えたい気持ちを育てていきます。また、絵本の読み聞かせを通して、表現や理解を広げていきます。	
	人間関係 社会性	小集団(1日10名)での活動の中で、人との好ましい関わりや集団に合わせる力を育てます。「はじめの会」や「おわりの会」等、着席して話を聞く時間を設けたり、ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)を取り入れて、好ましい人との関わりを学んだりしていきます。	
家族支援	定期的な面談日を設ける他、親子行事や保護者会を開催しています。また、ペアレント・トレーニングも実施しています。	移行支援	保育園・幼稚園などとの併用利用を支持しています。必要に応じ、通園する施設に訪問し、情報共有を行います。
地域支援・地域連携	医療や教育機関の情報共有に応じたり、ケース検討会議や各関係機関との会議に積極的に参加したりしています。	職員の質の向上	○救急法研修(年1回) ○身体拘束適正化・虐待防止研修(年1回) ○衛生管理研修および訓練(感染対策など)(年2回) ○関係する外部研修会の参加 ○日々の終礼での情報や支援方法の共有
主な行事等	○親子行事…夏祭り(8月予定)・親子の運動遊び(12月予定)・修了式(年長児対象/3月予定) ○保護者会…年2回開催(6月と2月予定) ○避難訓練…年3回実施(6月と1月は火事を想定、10月は地震を想定)		